

いちはら粘菌の会

第 62 号 令和 6 年
2024 年 6 月 1 日発行



観察会で見つけた
キンラン(金蘭)5/12
絶滅危惧種

真夏日の気温、そして熱中症の注意が呼びかけられるようになりました。気候や気象の変化が激しい季節に入ります。

5月の観察会は空の神様が応援してくれました。☂の合間に粘菌、その他いろいろと、嬉しい発見がたくさんありました。



☆ダルビッシュ投手(5/19)
痛を喰って13年目
日米通算 200 勝
☆大の里カエデ(5/26)
初土壌より7場所の
スピード初曝露
～おめでとう!!～



粘菌交流館、ガラス窓に地域の協力者、鈴木さんがメッセージを描いてくれました。ありがとうございます。



奈良の大仏のカンパウタケを、先日見てまいりました。大仏様にお参詣を上げ、丁寧に参詣した後、小さい方のみ採取させていただきました。生では特に美味しくも不味くもない少しの酸味とほのかなきのこの味わいがあるだけでしたが、オーブオイルで焼き玉葱とシモン汁と頂くと、油のコクがプラスされて美味でした。

～会員の T さんから、便りが届きました。観察会当日欠席だった彼女は、キノコ発見のニュースを知り、後日現地へ。試食をするなんて！彼女は勇氣あるキノコ博士ですね!!～

行事予定

6月2日(日)「親子里山体験」 PM13:20～14:45

東国吉地区へ。 国分寺公民館登録サークル主催
・参加の皆様粘菌交流館の紹介やPRをします。

6月9日(日)粘菌観察会 AM10:00～11:45

・粘菌探し、観察地の歴史についての学び
—釋蔵院・府中日吉神社境内、その他能満地区—

集合は釋蔵院 駐車場に 9:50 です。

7月14日(日)粘菌観察会 AM10:00～11:45

詳細は後日、お知らせいたします。

👉 どなたでも参加できます。参加費一般 500 円
高校生以下は無料

出会いがいっぱい!! 観察会



5/12(日) 10名
手作り堆肥に
発生した変形体
アメーバ発見!
＜変形体が発生することは、生物にとって、害のない良い土や環境なのです。＞



野菜づくりの合間、大木さんは故郷鹿兒島の伝統の一品、「あくまき(灰汁巻)」を巨釜で。こどもの頃よく食べたという思い出を、なつかしそくに語ってくれました。



マメホコリ(5/19)
「森の宝石」発見!
釋蔵院境内にて

問い合わせ先



080-5460-5775(中村)
090-7230-4847(佐藤)
090-2476-1361(石井)

☆行事等は変更になることも、あります
☆粘菌交流館住所 市原市東国吉 495

いちはら粘菌の会